

研修の概要

(1) 研修の目的

持続的かつ効果的な開発教育・国際理解教育（「当該教育」という。）を実践する中核的な指導者を育成すること、指導者間の連携強化およびネットワーク形成を行うことを目的とします。

(2) 研修の日程および内容

※ 諸事情により変更になる場合があります。予めご了承ください。

下表の4回の研修および実践報告フォーラムを通して、受講者自らが、当該教育の学び方を学び、当該教育の目的、扱う内容、参加型手法についての理解を深めると共に、実践者としてのスキルアップを図ります。

回	日時	内容（予定）
第1回	6月19日（土） 13：00～17：00 6月20日（日） 10：00～15：00	当該教育の目的・内容・進め方を体験的に学ぶ 私たちの社会の現状課題を確認し、未来への希望を語り合う
第2回	7月17日（土） 13：00～17：00 7月18日（日） 10：00～15：00	テーマについて学ぶ、テーマのために学ぶー 流れのある参加型プログラムを体験する
第3回	8月28日（土） 13：00～17：00 8月29日（日） 10：00～17：00	気づきを行動につなぐ参加型デザイナー実践に向けて学ぶ 多様な切り口からの学習者主体のプログラムを作る
9月～2月：各自、学校の授業などで実践！ 11月13日（土）、1月22日（土） 13：00～17：00 実践のフォローアップ会（自由参加）、フォーラムでのワークショップ提供チームの検討会（有志）		
第4回	2月26日（土） 10：00～18：00	当該教育の可能性ー学びの好循環を作るー 実践の成果と課題の共有（教師海外研修受講者を含む）
実践報告 フォーラム	2月27日（日） 10：00～17：30	実践の報告、実践体験ワークショップの提供（有志） 実践者つながりワークショップ（過年度受講者との交流）

研修で学ぶこと 得られること

① 国際理解教育と開発教育の関係やESD、SDGsとの関連、当該教育の理論や方法論	② SDGsを理解するための参加型プログラムの体験によるその効果の実感と実践意欲の高まり	③ 学習者の気づきから行動へとつながる“ねらい”を実現するプログラムづくりの考え方と手法
④ 教育ファシリテーターの4つの役割と学習者に対する問う力を持ったファシリテーション力	⑤ 『為すことで学ぶ！』研修での学びを各現場で実践する契機を提供と、実践後の共有・向上	⑥ 教育に対して同じ志を持った仲間との出会い、相互の学び合いの関係やネットワーク

(3) 研修の場所 JICA中部 なごや地球ひろば2階セミナールーム

愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60-7 TEL 052-533-0220（代表）

(4) 研修のファシリテーター

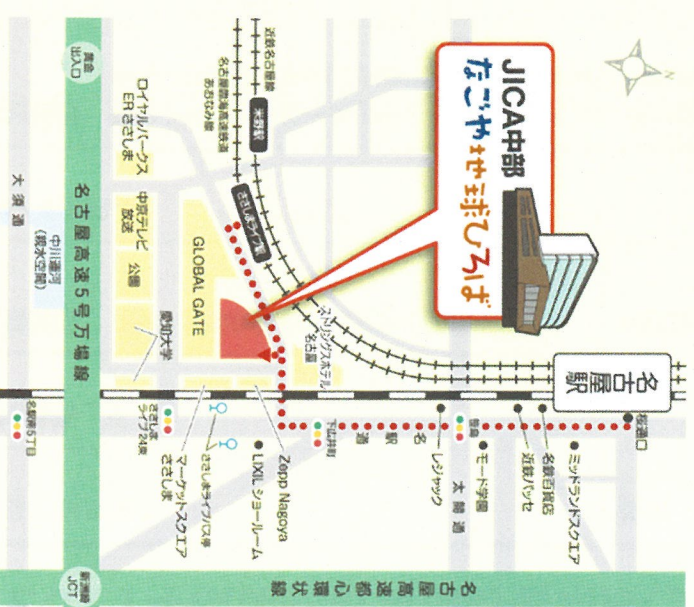
（特活）NIED・国際理解教育センター 代表 伊沢令子



ERIC 国際理解教育センターでの研修を経て、1998年に名古屋でNIED・国際理解教育センターを設立。現在は、自治体、教育委員会、国際関係団体、大学・学校、NPO/NGOなどの依頼により、年間100回以上の参加型ワークショップを実施している。当該研修は10年以上ワークショップを務めている。

- ◇ NPO 法人 NIED・国際理解教育センター 代表理事
- ◇ オルタナティブ・スクールあいち惟の森 テーマ・スキル学習コーディネーター
- ◇ 中京大学「国際理解教育論」、愛知学院大学「ワークショップ」非常勤講師

※ 過去の開発教育指導者研修、実践報告フォーラムの内容はJICA中部ウェブサイトで。



JICA中部 開発教育

検索